

明石工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	造形	
科目基礎情報							
科目番号	0016		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	建築学科		対象学年		1		
開設期	前期		週時間数		4		
教科書/教材	随時配布するプリント第7週は建築図学（理工学社）を使用する。						
担当教員	大塚 毅彦,工藤 和美,岩田 直樹,柴田 知佳子						
到達目標							
建築設計に取り組むための基礎として、建築図学・立体作品を主とし、工作技術と建築空間における表現力を習得する。 作業の方法を理解し、正確かつ安全に作業ができる。 デザイン性のある工作物を設計し、制作できる。 3. 実習の成果をプレゼンテーションと報告書としてまとめることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	適切なデッサンができる。		デッサンができる。		適切なデッサンができない。		
評価項目2	デッサンから工作物を適切に作ることができる。		デッサンから工作物を作ることができる。		デッサンから工作物を作ることができない。		
評価項目3	建築の基本となる立体構成および平面構成の基礎を適切に理解できる。		建築の基本となる立体構成および平面構成の基礎を理解できる。		建築の基本となる立体構成および平面構成の基礎を理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (D) 学習・教育到達度目標 (F)							
教育方法等							
概要	建築の基本となる立体構成および平面構成の基礎的訓練を行う。また、視聴覚教育によって建築・都市への理解を深める。第1～6週、赤堀担当、7週工藤、第8～15週岩田・大塚担当						
授業の進め方・方法	各週、演習課題を個人もしくは、グループ制作によって作成する。 建築設計に取り組むための基礎として、様々な造形作品を作成し、工作技術と建築空間における表現力を習得する。 本演習は、建築を設計する上での創造力、プレゼンテーション力の向上に必要である。						
注意点	建築に対する関心を高め、演習課題を確実に完成させること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	デッサンについて（赤堀）		デッサンの基礎を理解する		
		2週	想像デッサン1（赤堀）		適切なデッサンの手法を学ぶ		
		3週	想像デッサン2（赤堀）		適切なデッサンの手法を学ぶ		
		4週	想像デッサン3と造形（赤堀）		適切なデッサンから立体を造形する		
		5週	想像デッサン4と造形（赤堀）		適切なデッサンから立体を造形する		
		6週	想像デッサン5と造形（赤堀）		適切なデッサンから立体を造形する		
		7週	図形と空間（赤堀、工藤）		図形と建築空間について理解する		
		8週	ビデオ1（伊東）：（大塚）陶芸：鬼瓦の制作 1（岩田、大塚）		鬼瓦の作成プロセスを理解する。		
	2ndQ	9週	陶芸：鬼瓦の制作 2（岩田、大塚）		粘土によって、鬼瓦を作成する		
		10週	和紙と骨組みを使って造形を作る 1（岩田、大塚）		和紙を使ってインスタレーションを作る。		
		11週	和紙と骨組みを使って造形を作る 2（岩田、大塚）		和紙を使ってインスタレーションを作る。		
		12週	マインドマップを使ってまちの本棚を作ろう 1（岩田、大塚）		本棚を設計し、作成する。		
		13週	マインドマップを使ってまちの本棚を作ろう 2（岩田、大塚）		本棚を設計し、作成する。		
		14週	インプロ（即興劇）によるものづくり（岩田、大塚）		即興劇によって、ものづくりを行うことができる。		
		15週	陶芸：鬼瓦の制作 3（岩田、大塚）		鬼瓦を作成する。		
		16週	期末試験実施せず				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	課題	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	10	0	10	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	80	10	0	10	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0